

令和6年度倫理審査委員会申請一覧

NO	申請年月日	課題名及び概要	職名	氏名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間（終了）
1	5月9日	リツキシマブによる寛解維持療法を受けたANCA関連血管炎患者の予後の検討 RTX寛解維持療法を受けたANCA関連血管炎症例の患者背景・治療内容・予後情報を後ろ向きに収集し、研究背景に記載されたRTX寛解維持療法の課題について探索的に評価することである。長期での予後情報、RTX寛解維持療法長期継続例での安全性情報を示すことを主要な目的とする。	自己免疫疾患研究室長	大矢 佳寛	6月18日	特段の問題はないので承認とする。	2025年3月
2	5月22日	仁戸名糖尿病コントロール研究(0次) 糖尿病療養指導士を抱えて糖尿病治療の専門性を持つ医療機関と健診機関の直接連携により、重症化予防の対象者の減少を目指す。	院長	西村 元伸	6月18日	特段の問題はないので承認とする。	2026年3月
3	5月27日	Kidney Replacement in Japan: A Study of Patient Decision-Making（日本における腎臓移植：患者と家族の意思決定の研究） 日本の透析医療における患者の「共同意思決定」の問題を探求する。日本の透析医療の「透析インフラ」の調査を行う。	血液浄化センター長	首村 守俊	6月18日	特段の問題はないので承認とする。	2025年3月
4	6月3日	全身性自己免疫疾患対象副腎皮質ステロイド性骨粗鬆症予防におけるビスフォスフォネート／活性化型VitD製剤併用に対するビスフォスフォネート単剤投与の非劣性を検証するオープンラベル、多施設共同、ランダム化比較試験 副腎皮質ステロイド投与を受ける自己免疫疾患患者において、ビスフォスフォネート単剤投与がビスフォスフォネート製剤+活性化ビタミンD製剤の併用に対して1年後の骨密度変化率で非劣性であるかどうかを検証することを目的とする。	リウマチ・アレルギー科医長	中澤 卓也	8月1日	特段の問題はないので承認とする。	2025年3月
5	6月18日	薬局における検体測定室の利用実態に関する研究 検体想定室の利用実態の把握を目的とし、独立行政法人国立病院機構千葉東病院の糖尿病・内分泌内科外来を受診した患者を対象に、検体測定室の認知度、利用経験や問題点などについて、無記名のアンケート調査を実施する。	診療部長	関 直人	8月1日	特段の問題はないので承認とする。	2026年3月
6	7月10日	神経変性疾患の病理学的バイオマーカーに関する研究 神経変性疾患における病理学的バイオマーカーの確立を目指す。	脳神経内科医長	武田 貴裕	8月15日	特段の問題はないので承認とする。	2028年3月

NO	申請年月日	課題名及び概要	職名	氏名	判定年月日	審査概要と判定	研究期間（終了）
7	9月12日	アルポート症候群レジストリ研究 遺伝子学的検査または病理組織学的検査によりアルポート症候群と確定診断された患者の背景情報、治療情報、長期予後に関する情報を収集し、自然経過、治療実績及び治療効果、genotype-phenotypeの相関等を検討する。また、学会が主導することで、将来的に医薬品の有効性や安全性の評価が可能な質の高いレジストリを構築する。	診療部長	金本 勝義	10月9日	特段の問題はないので承認とする。	2026年4月
9	10月16日	本邦における膵島移植患者登録に関する多機関共同研究 日本における膵島移植全例を対象としたレジストリー・データベースの構築。	臨床研究部長	坏 尚武	11月15日	特段の問題はないので承認とする。	2029年3月
11	11月27日	PR3-ANCA陽性ANCA関連血管炎患者の鼻・副鼻腔CT画像による再発リスク予測 鼻・副鼻腔CT画像を人工知能を用いて解析し、鼻・副鼻腔の形態学的特徴がPR3-ANCA陽性ANCA関連血管炎の再発にどの程度関与しているかどうかを明らかにすることである。	自己免疫疾患研究室長	大矢 佳寛	1月21日	特段の問題はないので承認とする。	2027年3月
12	1月15日	抗ARS抗体症候群患者の寛解導入における副腎皮質ステロイド、タクロリムス、ミコフェノール酸モフェチルの3剤併用療法の有効性と安全性を検討する単群、パイロット試験 初発の抗ARS抗体症候群患者に対して副腎皮質ステロイド、タクロリムス、ミコフェノール酸モフェチルの3剤を併用した寛解導入を行い、1年後のステロイドフリー寛解の割合を主要評価項目として有効性と安全性を検討する。	自己免疫疾患研究室長	大矢 佳寛	2月25日	特段の問題はないので承認とする。	2027年6月
13	2月27日	セマグルチドによる血糖改善作用の効果を予測するための多施設研究 2型糖尿病患者に対するセマグルチド投与によるHbA1cの低下度と消化器症状の関係を明らかにし、本薬剤の有効性、効果予測因子を検討すること。	診療部長	関 直人	3月31日	特段の問題はないので承認とする。	2028年3月
14	3月6日	リウマチ性多発筋痛症とそのアウトカムに関する研究 当院におけるPMRの治療した症例の検討を行う事により当院でのPMRの発症の傾向、治療実態について明らかにし、今後のより良い治療方針決定のための参考とする。	リウマチ・アレルギー科医長	中澤 卓也	3月31日	特段の問題はないので承認とする。	2028年3月